

2026年度 ESDティーチャープログラム 草津会場 開催要項

1. 目的と内容

2015年に開催された国連持続可能な開発サミットにおいて「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、その中心が持続可能な開発目標（SDGs）である。日本においても、学習指導要領の前文に「持続可能な社会の創り手」の育成が明記されるなど、持続可能な社会づくりにおいて教育が担う役割には大きなものがある。本プログラムは、持続可能な社会の担い手を育成する教育であるESD（Education for Sustainable Development）を適切に指導できる教員に求められる資質・能力を明らかにし、その力量形成を目的に以下の内容で実施するものである。

（1）SDGsの理解促進、（2）ESDの学習理論、（3）優良実践事例の分析、（4）単元構想案の相互検討とESD学習指導案の作成、（5）ESD学習指導案の相互検討

5回の研修に参加し、毎回のミニレポートを作成すると共に、ESD学習指導案を作成した現職教員等には、3月末に奈良教育大学学長より、「ESDティーチャー」の認定証を授与する。なお、すでにESDティーチャーを取得し、「ESDマスター」「ESDスペシャリスト」の取得を目指す場合は、併せて（6）ESDカリキュラムマネジメント、（7）カリキュラムマネジメント案の相互検討を受講する。

2. 主催 奈良教育大学 ESD・SDGsセンター・近畿ESDコンソーシアム

3. 共催 草津市教育委員会

4. 対象 草津市の現職教員等20名程度

5. 開催日時と研修内容・担当者

研修①（SDGsの理解促進）：6月12日（金）13時30分～15時

担当者 奈良教育大学 中澤静男

研修②（ESDの学習理論）：6月12日（金）15時～16時30分

担当者 奈良教育大学 中澤静男

研修③（優良実践事例の分析）：8月4日（火）10時～12時

担当者 奈良教育大学 大西浩明・中澤静男

研修④（単元構想案の相互検討）：8月4日（火）13時30分～16時

担当者 奈良教育大学 大西浩明・中澤静男

王寺町立王寺北義務教育学校 藏前拓也

奈良市立伏見小学校 圓山裕史

草津市教育委員会 辻大吾・山本寛之

研修⑤（ESD学習指導案の相互検討）：10月30日（金）13時30分～16時30分

担当者 奈良教育大学 及川幸彦・河野晋也・中澤静男・大西浩明

草津市教育委員会 辻大吾・山本寛之

6. 会場

研修①②：草津市教育研究所（滋賀県草津市草津3丁目13番30号）

研修③④：草津市立市民総合交流センター キラリエ草津（滋賀県草津市大路2丁目1-35）

研修⑤：草津市教育研究所（滋賀県草津市草津3丁目13番30号）

7. 参加料：無料

8. 参加申し込み

次の申し込みフォーム、QRコードから。

<https://forms.office.com/r/CVAuNAYxeM>



5月27日（水）締め切り

9. 問い合わせ先

奈良教育大学教育研究支援課ESD事務担当：西田 k-soumu@nara-edu.ac.jp

TEL 0742-27-9367

奈良教育大学ESD・SDGsセンター 大西浩明 onishi.hiroaki.01@cc.nara-edu.ac.jp